



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

事業連携の推進 / 板事業の第4次中計進捗 — 変化する外部環境への対応

橋本 圭造

副社長 執行役員

板事業本部 本部長



事業連携の推進



Aluminum lightens the world

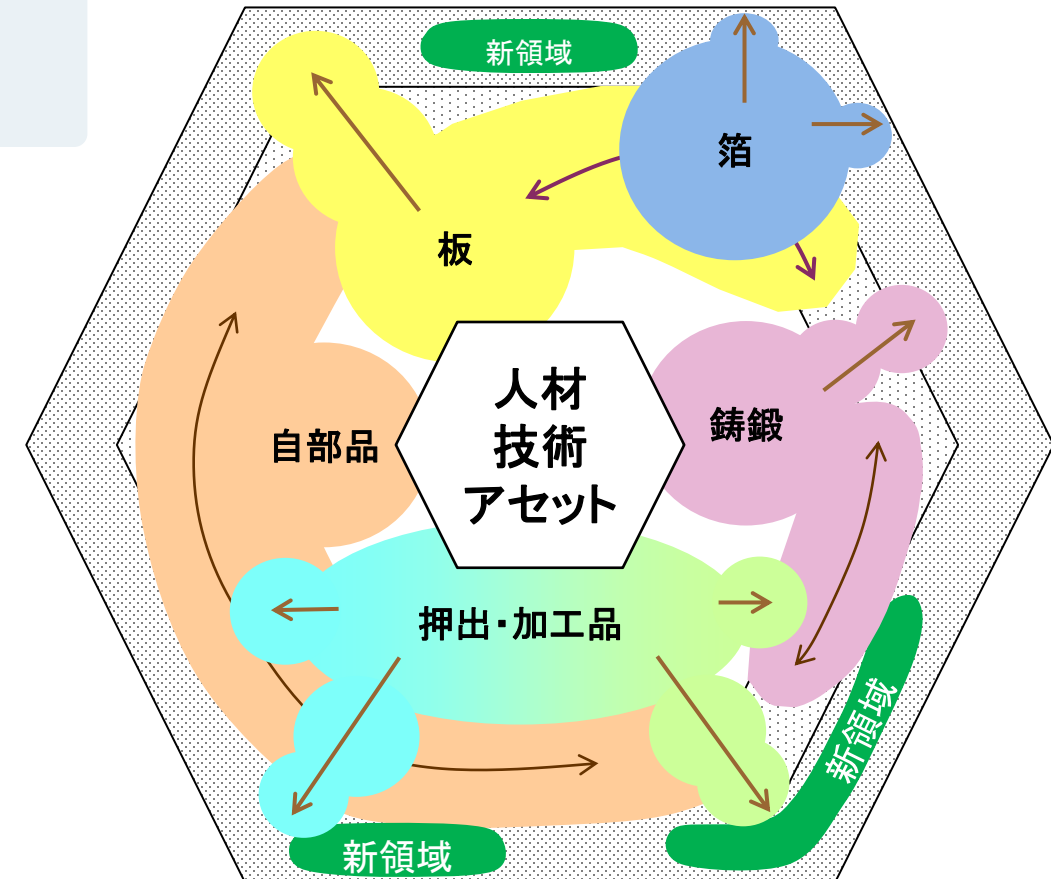
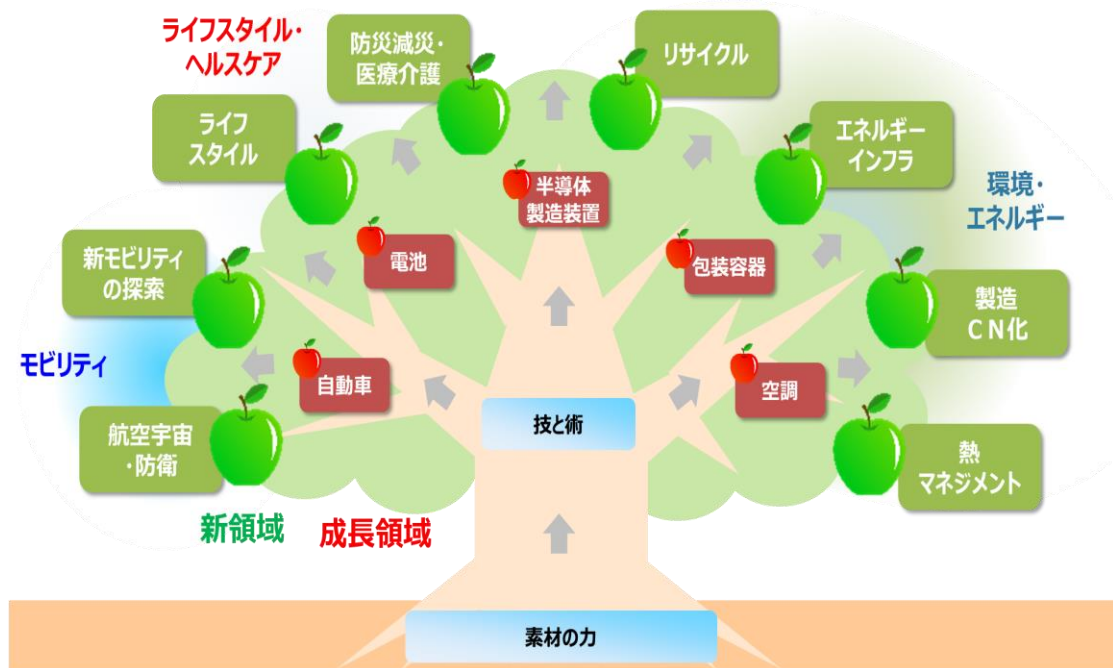
アルミでかなえる、軽やかな世界

第4次中期経営計画達成のための事業連携強化

事業の垣根を超えた面でのアプローチで、お客様の幅広いニーズにお応えする

第4次中期経営計画 重点方針：素材提供企業から「素材+α」の付加価値提供企業へ

- ① 成長戦略・付加価値戦略 価値創出拡大による収益の最大化と収益率の向上
- ② 事業の強靱化 筋肉質でしなやかな体質の強化
- ③ 基盤の強化 価値創出と安定した事業運営を支える基盤の強化



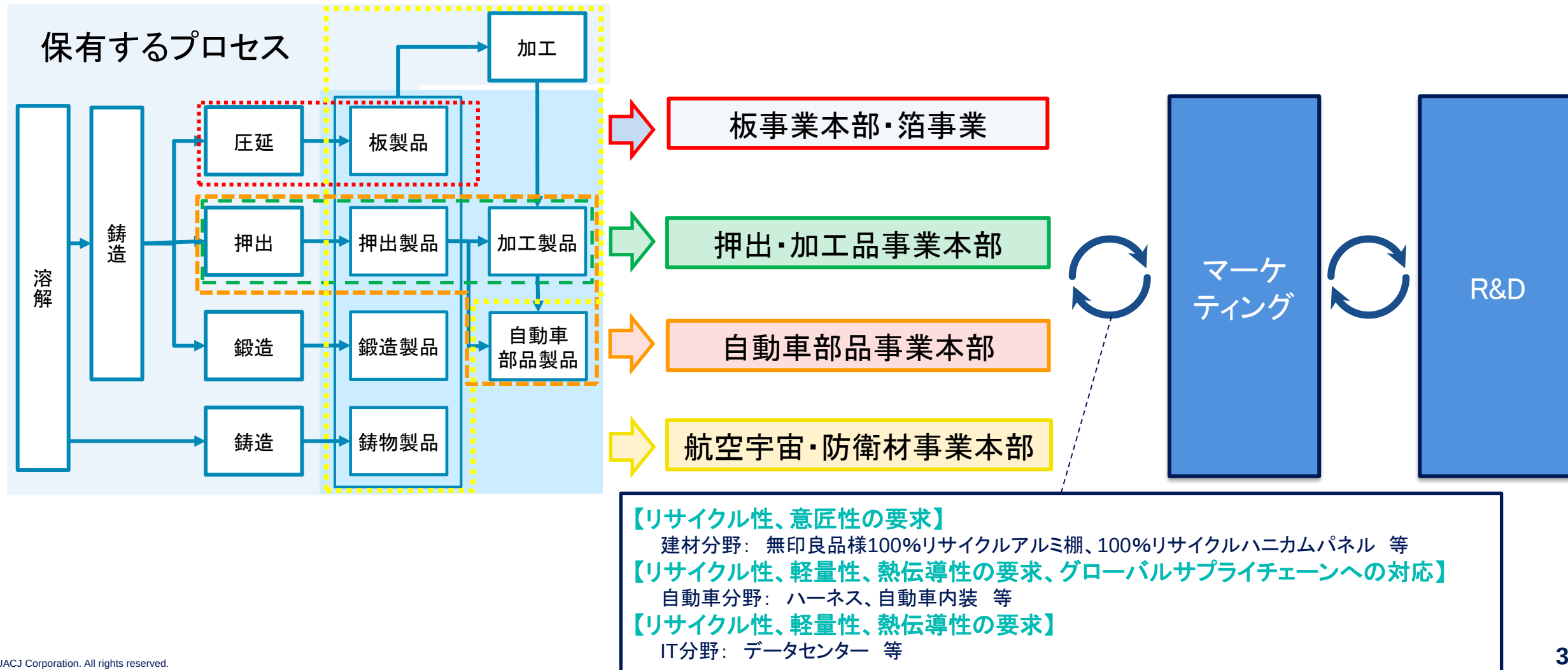
：既存領域の重点活動分野



：新領域の重点活動分野

総合力発揮のための軸

グループが保有するあらゆる資本をマーケットニーズに合わせて、有機的に最大活用



板事業

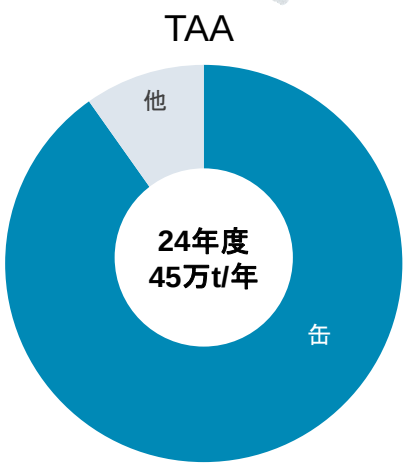
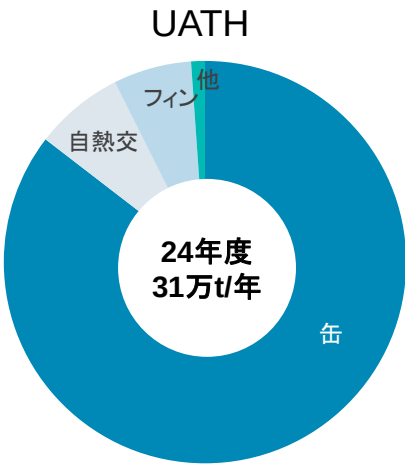
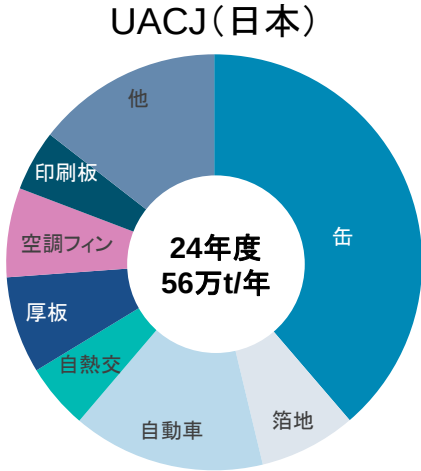
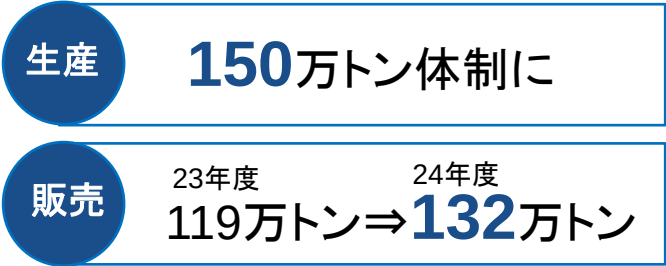
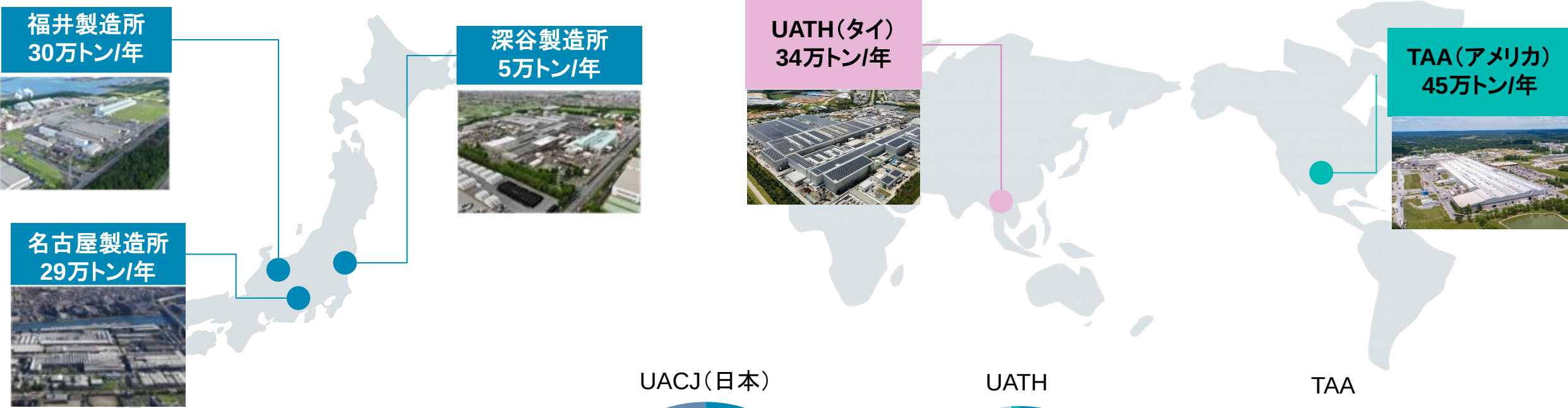


Aluminum lightens the world

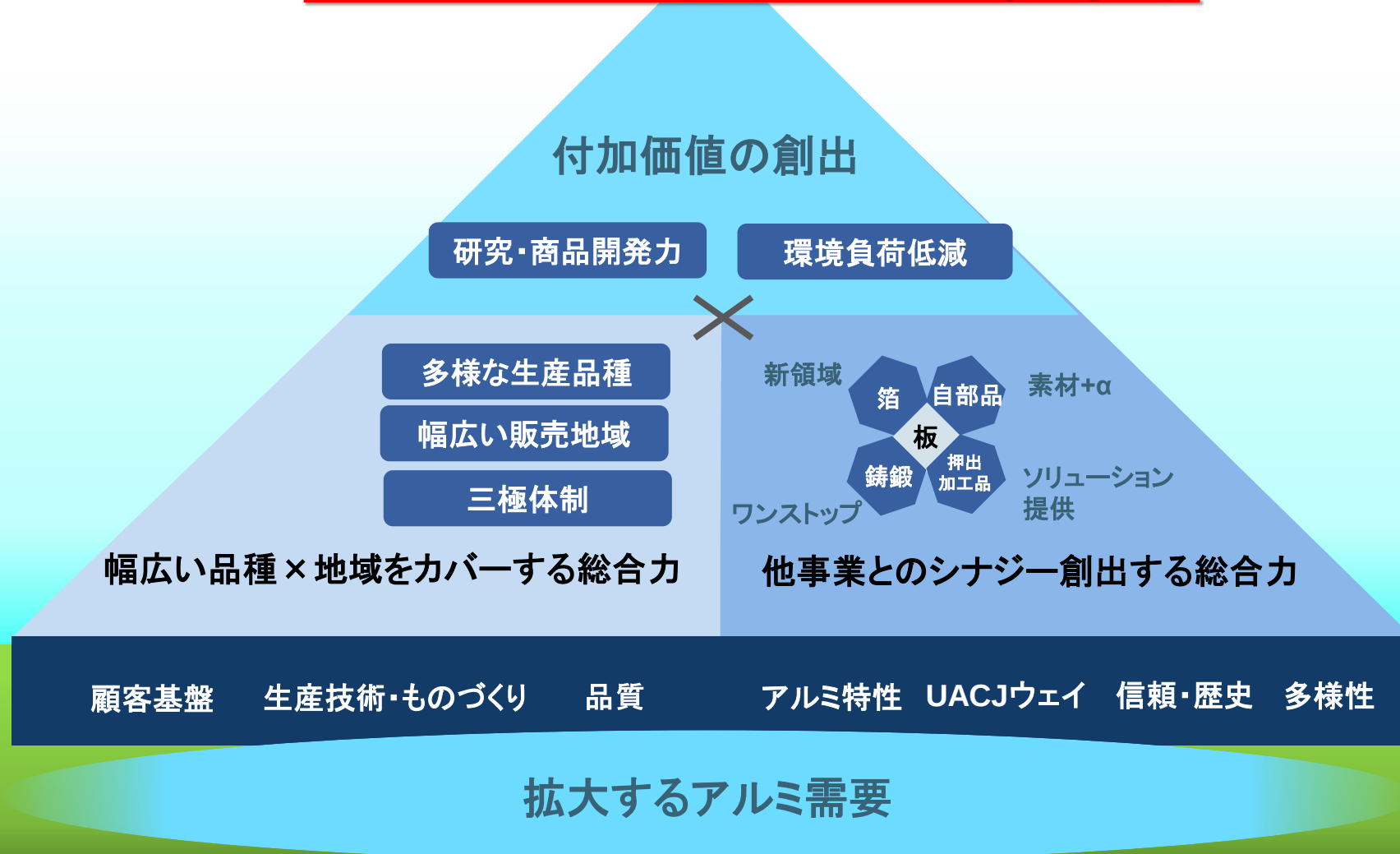
アルミでかなえる、軽やかな世界

板事業の主な生産拠点

板事業は日本・タイ・米国を基軸とした三極体制で安定性と成長性を追求



世界No.1の総合アルミ板事業



第4次中計の進捗

1. 量から質への転換

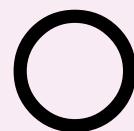
- 収益性、資産効率性の向上
 - 販売ポートフォリオの最適化
 - 販売エリアの選択と拡大
 - 新規開発の強化
- 重点分野の需要増減に柔軟対応できる生産体制



- 24年度の成果
 - 販売ポートフォリオは最適化中
 - 欧州(ドイツ)に新会社設立し営業・技術サービス力を強化
- 厚板焼入材の設備導入(深谷)を決定設備導入効果の最大化図る

2. モノからコトへの転換

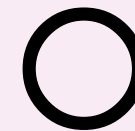
- 環境課題解決するソリューション提供
- CO₂削減、水平リサイクル推進
- ALmitas+ SMARTマスバランス



- 24年度の成果
 - 環境配慮型製品は拡販中
 - 再生原料使用拡大に向け設備投資(福井、TAA、UATH)を実施中
- UATHは缶材の域内クローズドループ構築中

3. 三極体制の進化

- 三極連携による顧客対応力強化
- 国内とUACJの二極互換性を拡大

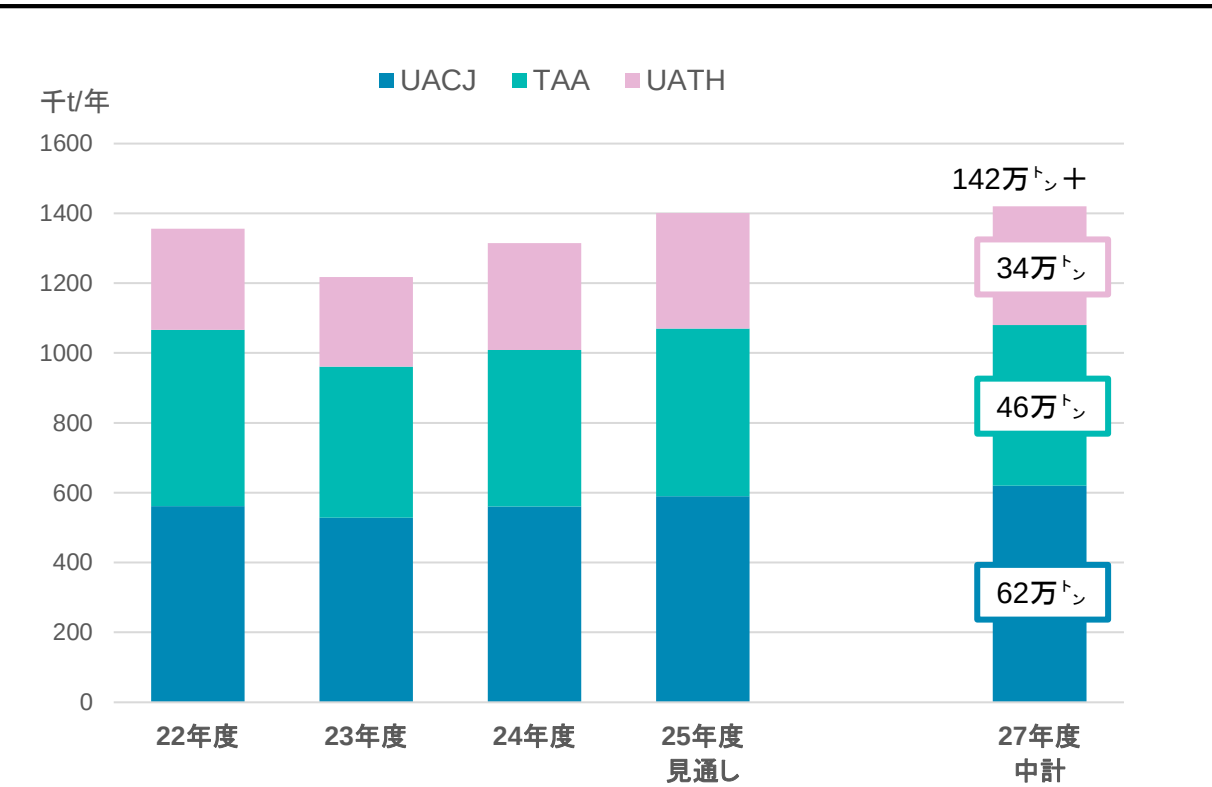


- 24年度の成果
 - UACJ板とUATHの互換性を強化中
 - UATHでは箔地生産販売準備中
- TAA、UATHで生産能力増強中

板事業の販売量と事業利益の推移

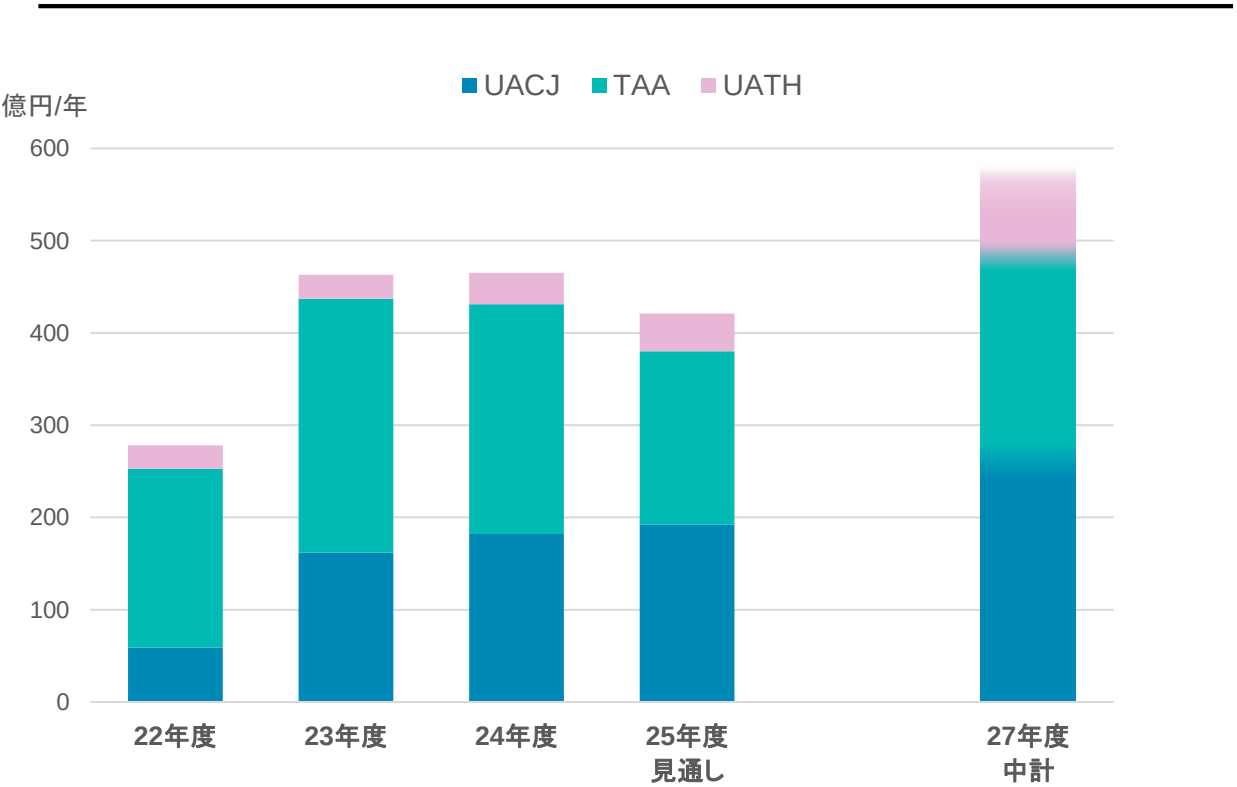
堅調な需要を背景に、板事業3極の販売量・事業利益を拡大

3極の販売量推移



2027年度 142万トン

3極の事業利益推移



2027年度 600億円(板事業全体) +

成長性

拡大するアルミ板需要と
環境負荷低減要請への対応で
板事業の成長を図る

事業利益

付加価値の創出
【環境負荷低減、環境価値の経済価値化】

米国・タイ中心とした海外事業
【成長事業】

国内事業
【コア事業】

環境配慮型製品の拡充
製品CFPの低減/リサイクル率向上

能力拡大/最大活用

価格適正化

品種の拡大/販売先(地域・顧客)の拡大

注力品種の能力増強

ポートフォリオ/生産互換性強化

価格適正化

時間軸

拡大するアルミ板需要に対する取り組み

	UACJ	UATH	TAA
増産	● 欧州向け缶材の拡販 ● <u>厚板焼入材の設備導入決定</u> (2027年稼働)	● 生産能力32万→36万体制の構築 (2030年) ● 新たに箔地(電池)の生産販売を準備	● 熱間圧延と冷間圧延の設備改修し、生産能力を41→46万トンへ向上 (～2026年)
環境負荷低減	● スクラップ溶解用の新サイドウェル式溶解炉を稼働 (2025年) ● 山一金属様と共同で設立したUBC加工処理の量産開始 (2026年)	● スクラップ溶解用の新サイドウェル式溶解炉を稼働 (2024年)	● 米国二次合金メーカーと共同してドロス処理合併を設立 (2024年) ● UBC処理用シュレッダーライン増設 (2026年)
販売施策	● ポートフォリオ最適化 ● 価格適正化 ● 不採算品種の撲滅 ● 取引条件の改善 ● 欧州拡販	● 価格適正化 ● ポートフォリオ最適化 ● 豪州・インド・中東・アフリカ拡販	● 販売先の拡大 ● 長期契約による販売量確保

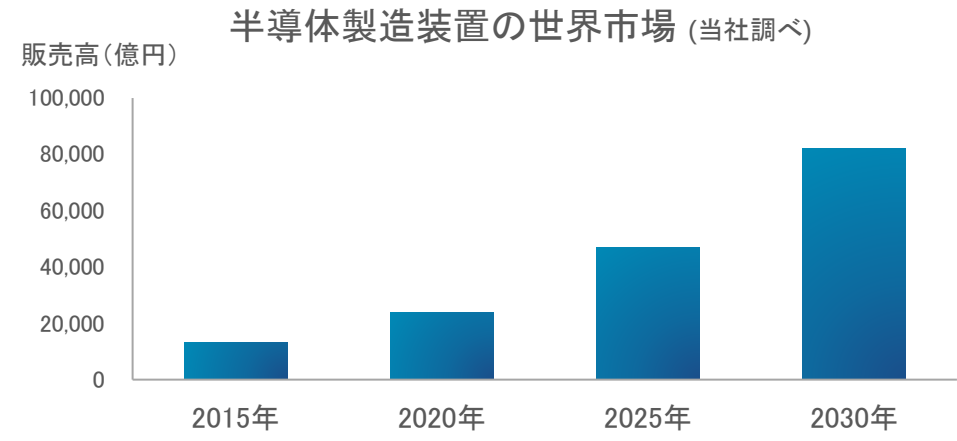
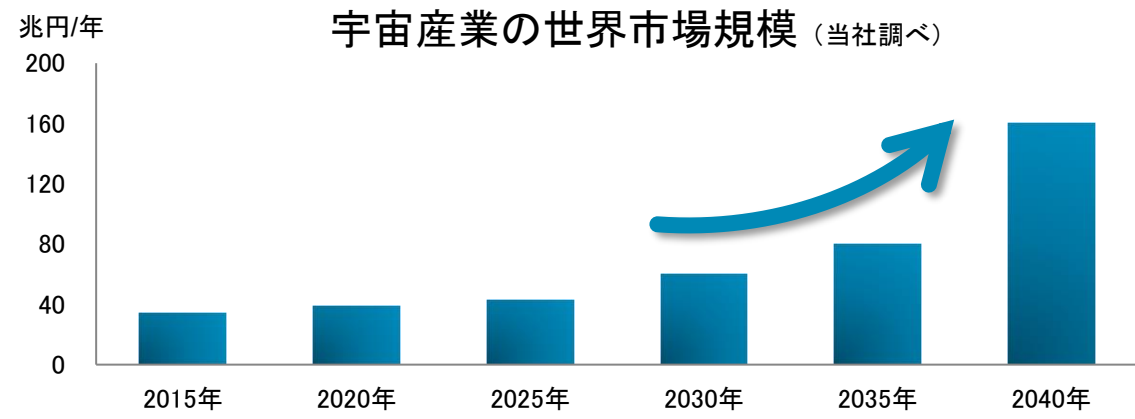
増産：厚板焼入れ材の設備導入

航空宇宙・防衛、半導体製造装置向け厚板焼入れ材生産能力を倍増

深谷製造所へ厚板焼入れ材製造設備を導入

- ✓ 日本最大規模・高効率な設備で、より高品質な製品分野へ
- ✓ 厚板専門工場としての総合力を向上
- ✓ 海外材からの切り替えを目指し、拡販へ

投資総額	約110億円
稼働開始	2027年度下期
生産能力	年間約10,000トン
需要分野	航空機材、宇宙関連材、 防衛装備品、半導体製造装置



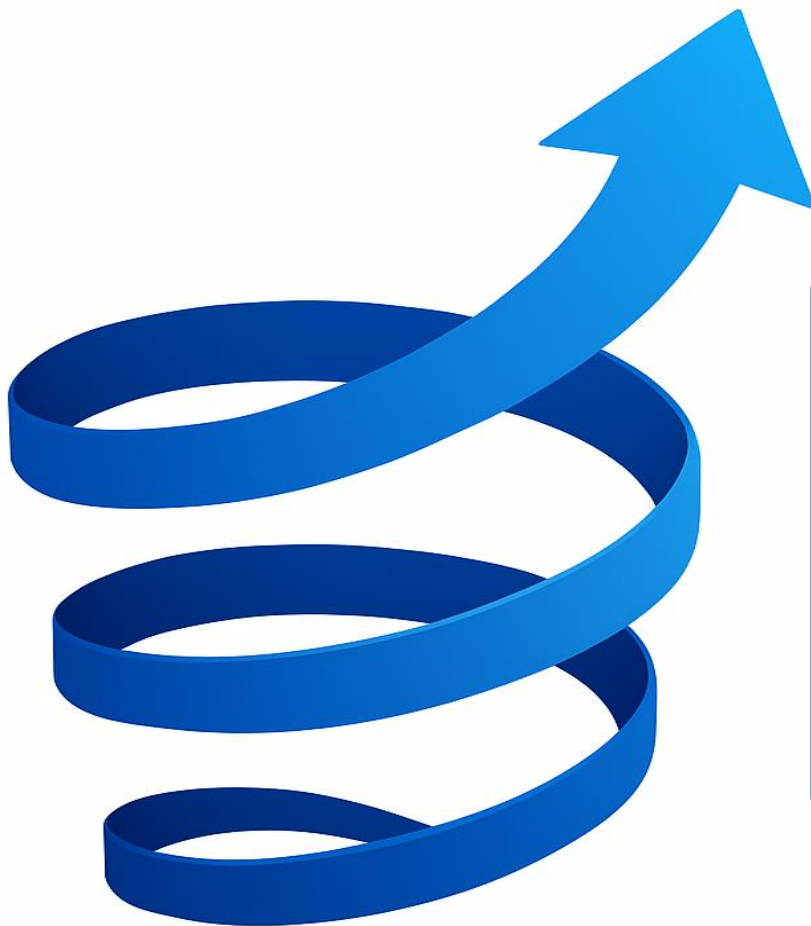
「環境負荷の低減」で生み出された「環境価値の経済価値化」

サステナブルな社会の実現に貢献する

顧客の環境負荷低減に貢献することで、環境負荷の低減と環境価値の経済価値化を推進

環境負荷の低減

- グリーン新地金の調達
- リサイクル関連の設備投資
- 再生原料の調達
- 再生原料活用する合金開発
- 再生可能エネルギーの調達



環境価値の経済価値化

- 環境価値の見える化
- 環境配慮型製品の拡充
- 第三者認証の取得
- 環境価値の訴求

環境負荷低減した製品

リリース年月		分野	内容
2022年	3月	-	Aluminium Stewardship Initiativeの認証を取得
	8月	缶	世界初の100%リサイクル缶を、サントリー・東洋製罐GHDと共同で製造
2023年	4月	自動車	グリーン原料を用いたアルミ板材「UACJ SMARTマスバランス」の提供を開始
	10月	建材	UACJの100%リサイクル材を使用したアルミ棚天板を「無印良品 新宿靖国通り」に納入
	12月	缶	飲料缶蓋「EcoEnd™」を東洋製罐と共同開発
2024年	3月	缶	住友不動産、東洋製罐と「アルミ缶水平リサイクル」のサプライチェーンを構築
	4月	建材	環境配慮型アルミ材「ALmitas+ SMART」が積水樹脂プラメタルのアートパネルに採用
2025年	4月	厚板	日本初、再生原料を100%利用の厚板「ALmitas+ FusPlate SMART」を発売

既に環境負荷低減した製品が採用されている分野に加え、
家電、IT機器（PC・スマートフォン）、化粧品ケース等でも採用に向け検討中

コスト上昇への対応

コスト上昇

一般的なコストアップ

- 人件費
- 副資材
- 物流費
- 設備維持・更新

原料

- アルミ新地金
- 添加金属
- 再生原料

エネルギー

- 電力
- 燃料

対応

価格改定

- 定期的な価格見直し
- 長期契約改定時の価格改定

サーチャージ導入

- アルミ新地金
- 添加金属
- エネルギー
- 副資材
- 物価指数
- 海上運賃

付加価値向上

- 競争力の高い製品
- 航空宇宙・防衛材
- 環境配慮製品

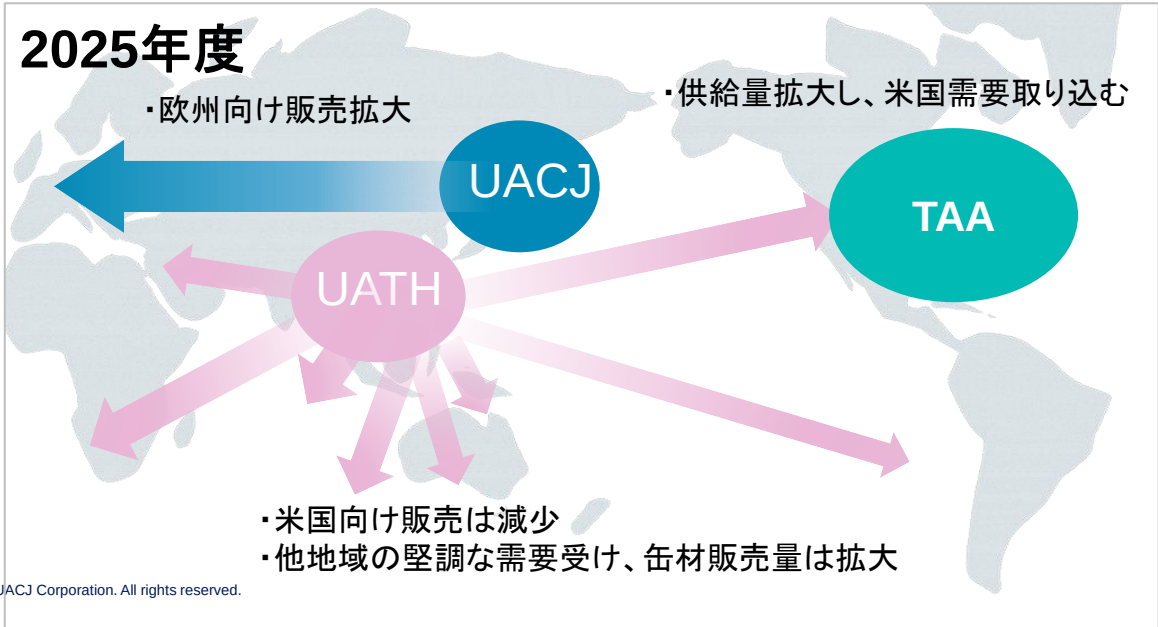
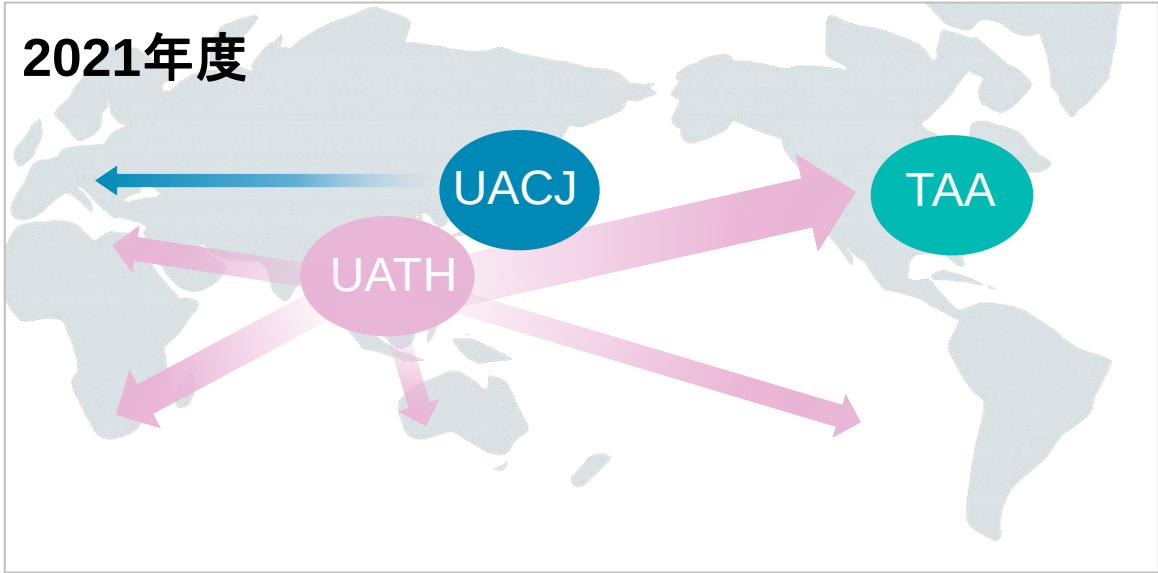
生産

- 生産量拡大等に伴う作業効率・使用効率の向上

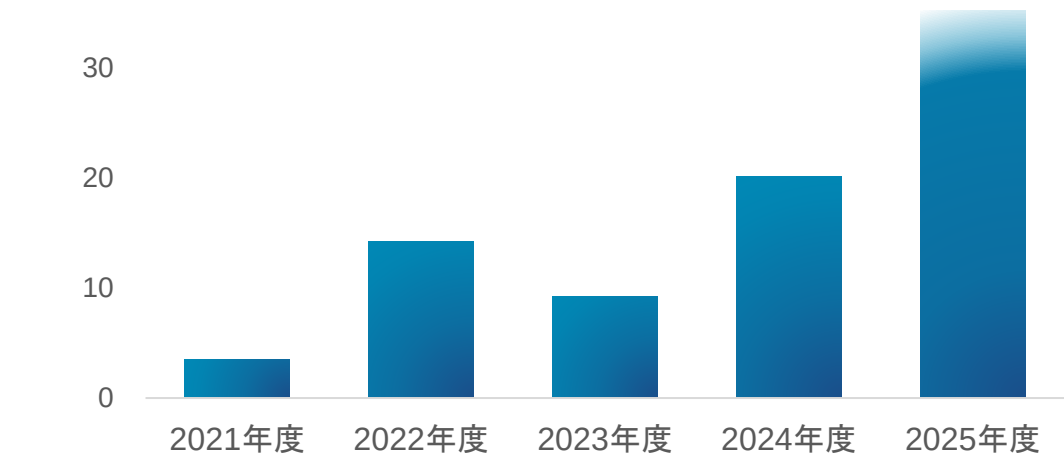
アルミ製品を取り巻く米国追加関税とその影響

関税	分野	販売量	補足
アルミ製品に対する 追加関税25% (通商拡大法232条)	米国へ輸出する缶材	25年は維持 26年以降は 減少	追加関税、適用除外制度の廃止を受け、 26年よりタイから米国へ輸出している 缶材の販売が減少する可能性あり
	米国へ輸出する 自動車関連材	維持+α	米国内供給先の工場閉鎖を受け、 日本およびタイから米国へ輸出している 自動車関連材の販売が増加する
	日本の需要家が 米国へ輸出する アルミ部品	維持	米国内に代替供給先がない製品が多いため、 販売が短期間で減少する恐れは低い
自動車・自動車部品 に対する追加関税25% (通商拡大法232条)	自動車関連メーカーに 販売する自動車関連材	一部影響あり	日本等から米国への輸出台数の減少により、 自動車関連材の販売が減少する可能性あり

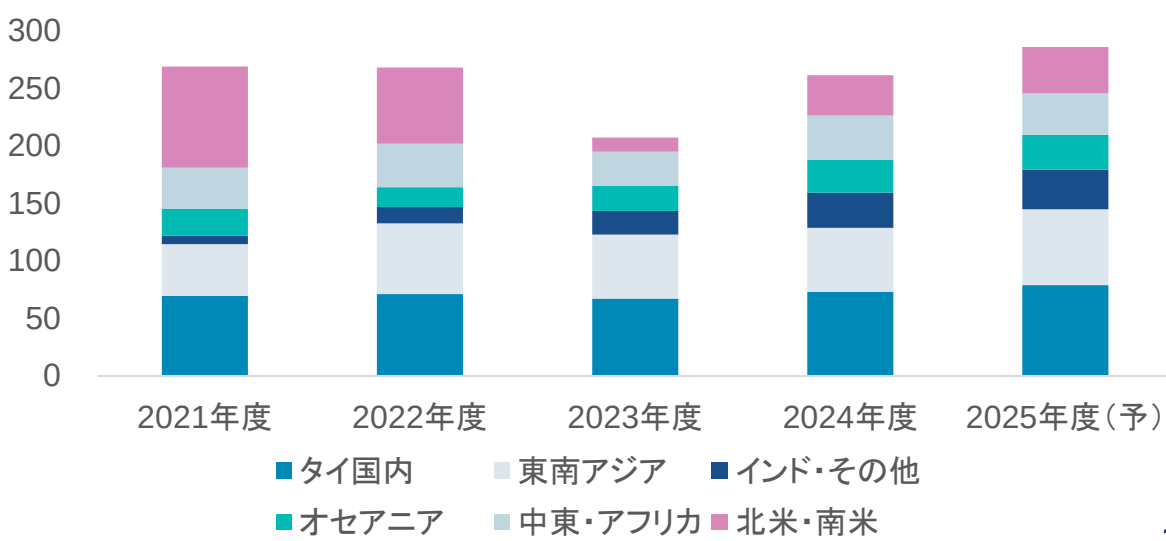
缶材販売地域の変化



UACJ缶材の欧州向け販売推移(千トン/年)

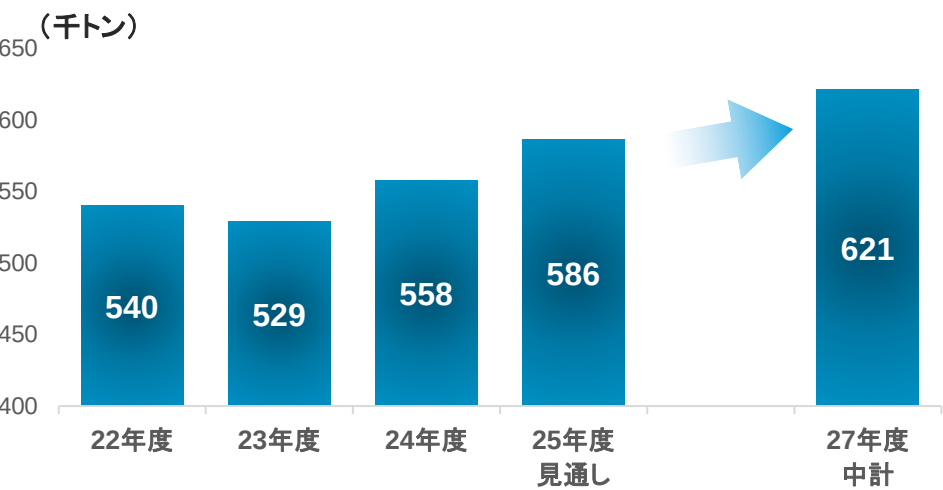


UATH缶材の販売地域(千トン/年)

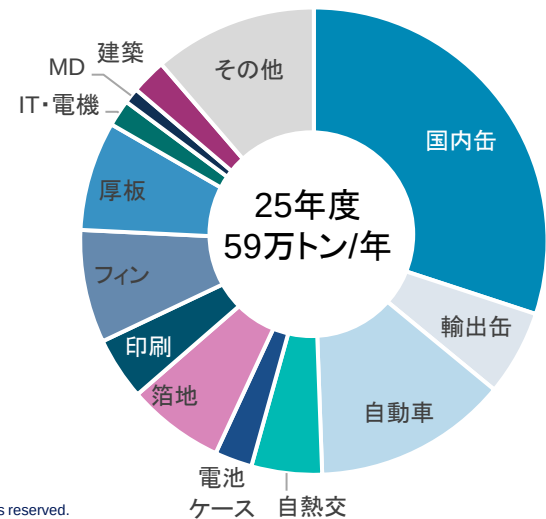


国内板の販売計画

販売数量 (国内)



2025年度の販売品種構成



分野		方針	販売量 (2025年度)
缶材		・リサイクル推進により付加価値を創出、缶需要喚起 ・堅調な欧州缶材需要取り込む	➡
箔地		・顧客との連携を強化、電池向け販売拡大	➡
自動車材	ボディパネル	・アルミ採用拡大目指す ・環境負荷低減などにより付加価値向上	➡
	熱交材	・製品構成の見直し、リサイクル対応の強化	➡
厚板		・回復、拡大する半導体製造装置需要取り込む	➡
一般材	空調用フィン材等	・製品構成の見直し、日本・タイの拠点間連携強化	➡



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

